

ここが聞きたい

Q & A

平成21年度一般会計補正予算

歳入

Q 国庫補助金の内、きめこまかな臨時交付金1億5606万3千円とは。



奥本本庁副町長

A 国からの経済危機対策として、黒潮町に臨時交付されたもの。

歳出

Q 産業振興推進総合支援事業補助金が925万3千円減額になった原因は。

A 特産品開発事業が翌年度に繰り越されたことと、県との協議で労務費等は補助対象にならなかったことが減額の原因。

歳出

Q 特産品開発推進奨励交付金100万円の減額と漁業者就業者補助金111万5千円の減額理由は。



松田産業振興課長

A 特産品開発奨励交付金は、農業部門で10件、水産部門で10件の交付を予定していたが、農業部門に応募がなく減額した。

漁業就業者補助金は、新たに漁業者になりたい方がいた場合の補助制度であり、該当者がいなかったことによる減額。

平成21年度宮川奨学資金特別会計補正予算

Q 今回468万円の減額は、単に申し込みが少なかったことが要因との説明であったが、予算枠があるのであれば年度1回の応募を、前期、後期2回にできないか。



坂本教育次長

A 予算枠は、高校生10名、大学生20名、合計30名を取ってあるが、最近の申し込みの状況は19年度は24名でその後は20名足らずの状態に移している。

年度2回の応募については他の貸付金にも事例がないが検討はしたい。

平成22年度一般会計予算

歳入

Q 地方交付税が約2億2千万円増えている原因は。



下村町長

A 政権交代後、国の方針が地方重視となり、特に今回、地方交付税の特別枠として、地域活性化雇用等特別債1兆円の創設を見込み6.1%の大幅な伸びとなった。

歳出

Q 携帯電話等のエリア整備事業の予算約3千万円は。



植田本庁総務課長

A し尿処理設置協力金として10年払いの1年分が、伊田漁協へ360万円、灘部落へ200万円、伊田浦部落100万円、伊田郷部落40万円となっている。

歳出

Q 町分地区、芝地区、早咲地区のコミュニティ助成とはどういったものか。

A 宝くじの運用益で国から100%頂くもの。各地区で昔から取り組んでいる文化継承へ助成される。部落からの要望で国へ提出する。

歳出

Q し尿処理費の保証補てん700万円の内訳は。